

ふるさとをつなぐ

ふるさとうらやすから21世紀のリーダーを養う -ふるさとうらやす立志塾-

市内9中学校から27名のメンバーが集い、平成29年度の「ふるさとうらやす立志塾」が開塾しました。今年度で7年目となる今回は、地域を知り、学校や地域での活動を通して、志をもったリーダーとしての実践力を身につけます。

8月4・5日にはうら・らめ〜で宿泊研修を行い、内田市長をはじめ、さまざまな団体で活躍されている方々から、「リーダー」「郷土愛」についての知識と経験を学びました。また、元町から境川沿いを歩きながら浦安の歴史に触れ、境川をEボート（10人乗りゴムボート）で上るフィールドワークや、車椅子バスケットボール選手との交流などをとおして、リーダーシップや郷土愛、実践力を高めています。

塾生達が研修で学んだ内容の実践の場として、10月15日に境川のツアーガイドを行います。

塾生の感想

- 物事をはっきりと決めつけるのではなく、「なんでだろう」「どうして」という考えを持ち、思考ツールを広げていきたいと思いました。
- 浦安について書ききれないほどたくさん学ぶことができましたが、総じていえるのはあらゆるところに「工夫」があふれているということです。昔の人の知恵はすごいなと思いました。
- 浦安って結構面白いんだなと思いました。ガイドさんが話すことは知らないことが多く、さらにそれが身近な所に多くありました。とてもわかりやすかったので、自分もこんな風に浦安を紹介したいと思いました。



浦安の今と昔をつなぐ 博物館宿泊体験

郷土博物館では、博物館屋外展示場にある文化財住宅で、昔の生活を体験しながら学ぶ「博物館宿泊体験」を夏休みに実施しました。

宿泊体験には小学校4年生から6年生の13名が参加し、郷土料理作りなどを体験したあと、蚊帳を取り付けた部屋で就寝しました。参加した児童からは「かまどでお米を炊くのは、たいへん!」「みんなで作った夕食はおいしい!」「こんなに朝早くから市場が開いているなんて、びっくり!」と、昔の暮らしを体験することで、ふるさと浦安を感じる貴重な時間となりました。



かまどを使って夕食づくり



午前5時30分に起床して魚市場に行きました



大潟村の農業についてお話を伺いました

秋田県大潟村と浦安市をつなぐ 子ども交流事業

「埋め立て」「干拓」といった「まち」の成り立ちが浦安市と似ている秋田県大潟村との交流会が8月に行われました。今年度は小学校5年生14名が参加し、大潟小学校5年生との交流や、農業体験を行いました。

また、大潟村のみなさんに浦安市のことを知ってもらおうと、グループに分かれ準備した資料をもとに発表会を行いました。子どもたちは浦安市と大潟村のつながりを感じることができました。10月には、大潟村の児童を浦安市に受け入れ、さらに交流を深めていきます。